

写真甲子園、高校生国際交流写真フェスタ、フォトフェスタ、どんとこい祭り

# 盛夏の祭典・フォトフェスタでどんとこい

写真の町東川賞授賞式、写真甲子園、高校生国際交流写真フェスタ、フォトフェスタ、どんとこい祭りが開かれました。4日間の写真甲子園2018（7月31日―8月3日）、写真の町東川町フォトフェスタ2018とどんとこい祭り（8月4、5日）、高校生国際交流写真フェスタ（8月3―8日）まで、延べ9日間のロングランで夏の祭典がにぎわいました。

水の乱会場で（8月4日）



第34回写真の町東川賞の授賞式と受賞作家作品展などを中心とするフォトフェスタイバル期間を中核にほ

期間中多くの家族連れの笑顔が弾けました。せんとぴゅあー講堂では、映画・写真甲子園『0・5

ぼ好天続きに恵まれました。週末に人出最高潮を迎えたどんとこい祭り

（8月4、5日の2日間）の会場は、高校生国際交流写真フェスタイバルで19カ国・地域から参加した高校生チームにとつて初日の撮影ステージとなったことと重なって、国際色いっぱい。

『秒の夏』（菅原浩志監督）の上映会も開かれました。写真甲子園、和歌山県立神島高校が2連覇。優勝は和歌山県立神島高校。4年連続4度目の出場で見事2年連続2回目の優勝を手に入れました。「（2連覇）できるとは思ってたな。でもこの3人で優勝できたら、という夢がかなった」「すごい長かった。今まで甲子園のために3人で頑張ってきたのが発揮できた」と声を詰まらせた。ファースト審査



優勝した和歌山県立神島高校（左から松平莉子さん、平阪瑠菜さん、岡田あかりさん）

テーマ「色（カラー指定）」、セカンド審査テーマ「光（モノクロ指定）」、ファイナル審査テーマ「自由（フリー）」⇨カラー・モノクロ指定なし⇨3テーマに挑み、「一日いちにち

が長くて、一生懸命走り回ってやり切った。納得できる作品になった」。松平莉子さん、平阪瑠菜さん、岡田あかりさん3人も3年生。「一年生の時から自分のやりたいことをやらせてくれた。ずっと頑張ってきた」と記憶に残る大舞台になりました。

全国19チームの高校写真部の代表チームで競った写真甲子園2018は、7月31日から8月3日まで4日間、美瑛町、上富良野町、東神楽町、旭川市、東川町（撮影順）を撮影ステージに開かれました。応募校は513校、初出場71校でした。

